

季刊 HISYO

affection  
devotion  
innovation  
harmony

2005 winter

vol. 8

あさかホスピタル  
ASA KA HOSPITAL

# 飛



## 特集

第39回日本作業療法学会  
優秀発表賞受賞

第33回日本精神科病院協会精神医学会  
会長賞受賞

あさかホール&Piatto OPEN

しらさわ有寿園デイサービスセンター OPEN

# 翔

## 第39回日本作業療法学会 優秀発表賞受賞

## 第33回日本精神科病院協会精神医学学会 会長賞受賞

### あさかホスピタルにおける臨床研究の進展によせて

作業療法科の吉田久美さんが第39回日本作業療法学会優秀発表賞、医局の渡邊理先生が第33回日本精神科病院協会精神医学学会会長賞を受賞されましたこと、誠にめでたくございます。こころよりお祝い申し上げます。

吉田さんの発表は、統合失調症の治療としての作業療法に脳機能障害へのリハビリテーションという視点を取り入れた先進的な工夫にあふれたもので、わが国の精神科作業療法を大きく変えうるエボック・メイキングなものだと思います。また渡邊先生の発表は、笠井さゆりさん、吉田久美さん、高根沢明子さんらによるポスター発表と、連の退院支援に関するもので、OIPを用いたチームアプローチのわが国で実践的な形を創造した非常に示唆に富むものです。

この二つの受賞には両者に共通する二つの大きな意義があると思います。

ひとつは、いずれも日ごろの診療における地道な工夫の積み重ねを積極的に学会で発表され、その内容が高く評価されたということです。動物実験や特殊な検査などの基礎科学研究ではなく、治療に根ざした患者さんの回復への日常的な臨床活動を研究レベルにまで高めた内容が、専門学会や同業者により表彰されるということは実に素晴らしいことだと思います。もう一点は、どちらの発表内容も個人プレー

ではなく、あさかホスピタルの多職種による包括的なアプローチにより達成された内容が評価されているという点です。表彰を受けたのは発表者だけではなく、共同研究者の方々、またその人たちの日ごろの臨床を支えている多くの方々の力があつたからこそこの受賞だと思っています。

こうした意味で今回の受賞はあさかホスピタルの職員の皆さんが、医療機関の本来の使命である臨床的な役割をより高いレベルで達成して来ていることの現れだろうと思います。今後もこれまで以上に患者さんの信頼を得られる、質の高い精神科臨床サービスを提供して下さるよう研鑽を積まれることをこころから期待しております。

慶應義塾大学 医学部精神神経科 専任講師

水野 雅文先生



(左前) 三浦勇太先生  
(右前) 吉田久美さん

(左後) 小林正利科長  
(右後) 渡邊 理先生

(真ん中前) 今泉紅子副科長  
(真ん中後) 笠井さゆりさん

(真ん中右) 吉田仁一次長  
(真ん中左) 高根沢明子さん

精神医学学会授賞式

(左) 吉田久美さん

(右) 小林正利科長



季刊 HISYO

affection  
devotion  
innovation  
harmony

2023 winter

vol.8

あさかホスピタル  
ASAKA HOSPITAL

目次 contents

- 第39回日本作業療法学会  
優秀発表賞受賞  
第33回日本精神科病院協会  
精神医学会 会長賞受賞  
..... 1
- あさかホール&Piatto OPEN  
..... 2
- しらさわ有寿園デイサービス  
センターOPEN..... 3
- 第10回日本ストレス病棟  
研究会  
..... 5
- 第4回あさかフェスティバル  
..... 7
- FEATURE STORY ON  
ASAKA  
..... 9
- シリーズ鶴山の新  
「源泉通りケヤキの森 足湯」  
..... 10



# 「あさかホール」 「Piatto」

この度、本院6階が改修され、「あさかホール」と「Piatto」がオープンしました。

柿落としては10月29日に本院が担当で開催された「日本ストレス病棟研究会」でした。研修会、講演会、見学説明を含め、機能的なホールが完成し、益々スタッフ研修が行いやすい環境が整いました。

Piattoはイタリア語でお皿やお料理という意味で、職員の昼食バイキングと共に12月からはデイケア、デイナイトケア利用者の皆さんのレストランも兼ねることになります。研究会、小学会、研修会を開催しても懇親会もできそうなほどの雰囲気は大変満足しています。

同時に演者をお迎えするレセプションルームやお昼を利用してランチミーティングもできる会議室なども整備しました。今回も（株）共同建築設計事務所の鈴木慶治氏の設計で、明るく、柔らかな環境作りの雰囲気は今までの本院の建築とも共通していると思います。

今後は関連法人のみならず、6階が地域の方々を催しなど、地域のコミュニティスペース的にご利用いただくと考えております。

是非、あさかホールとPiattoを宜しく願います。

# OPEN



院長 佐久間 啓





# デイサービスセンター

11月より、しらすわ有寿園に併設して、しらすわ有寿園デイサービスセンターがオープンしました。

近年、在宅サービスであるデイサービスセンターに在る社会ニーズは変化しており、国が掲げる「2015年の高齢者介護」では「切れ目のないサービスの提供」を目指し、365日、24時間の安心を提供することとなっております。そのためには、「小規模・多機能サービス拠点」が必要であり、その一端としてデイサービスセンターが果たす役割は大きくなければなりません。そのため当センターも従来の「外出と社会的な交流」、「機能訓練・日常生活訓練」、「家族介護の負担軽減」といったニーズはもとより、今後期待される「地域で利用者を支えるための拠点」としての役割を果たすべく開設しました。

## 《施設概要》

定員は一般型20名。豊かな自然に囲まれ、四季折々の風景が目を惹かせます。玄関を入り廊下の先には、圧迫感の無いゆつたりとした作りの食堂兼ホール、14畳の広さの畳スペース、リハビリコーナーがあり、その他に静養室、浴室（般浴槽・リフト浴槽2）、トイレがあります。ホールフロア全体にはゴルフを用いたクッションパネルを使い、安全面に配慮されており、建物全体は木の温もりを感じることのできる作りとなっております。

また、国の外郭団体であるNEDO（独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）から補助金を受け、太陽光による給湯及び冷・暖房システムを導入（福祉施設としては県内で2番目）し、お風呂も空気も、よりやさしくやわらかさを感じることができます。



しらすわ有寿園  
デイサービスセンター  
阿部 悠高主任



# 11月OPEN

# しらさわ有寿園



## 《リハビリ機器》

来年4月からは「新予防給付」が施行されるため、デイサービスセンターに対するニーズはさらに高まると思われます。当センターではそれを見据え、ウオーターベッド型マッサージ機をはじめとして、セラピーマスター、マイクロナードミ、メドマー、ホットパッドなど、より利用者のみなさまのニーズに応じられるよう充実させました。

\*セラピーマスター(自動運動を行うためのリハビリ器具)

当センターでは筋肉を大きく、広く動かすストレッチ運動を中心に行い、筋緊張の緩和、関節部の血液循環改善、筋力増加による立位バランス、座位バランスの安定を目指します。

\*マイクロナードミ(温熱療法に用いられるリハビリ機器)

\*メドマー(エアマッサージ器)

## 《サービス実施区域》

白沢村全域はもちろん、近隣の二本松市、本宮町、大玉村、郡山市西田地区などの皆様にもご利用いただけるよう送迎範囲を拡大しています。

しらさわ有寿園開所5周年、節目の年でのスタートとなりました。

「地域で利用者を支えるための拠点」としての役割をしっかりと果たし、利用者のみなさまが集う場として、やすらぎを感じることできる場所でありたいと職員一同願っています。

# 2005.



# 第10回 日本ストレス病棟研究会



去る10月29日、当病院で第10回日本ストレス病棟研究会が行われました。

ストレス病棟研究会は当院を含め、13病院の会員施設があります。会員施設は、関西から九州地方の病院が多く、その中でも鹿児島県にある病院が「一番の遠方でした」。

午前中は、「ストレス病棟のスタンダードを考える」をテーマにシンポジウムがありました。4人のシンポジストから、ストレス病棟における心理面からの関わり（不知火病院）、作業療法としての関わり（草津病院）、管理上の問題点（二大病院）、アンケートからいえること（当院、廣山先生）の発表がありました。

他の病院の現状を聞いて、すみれ病棟で抱えている問題と同じであることに驚き、共感できる点が多々ありました。入院する事により退行が促進され受け身的な依存欲求が増強しても、入院することでの心理的な意味に大きいのだということ、安心できる環境と受容的な関わりでの提供こそが患者さんを受けとめるということなのです。

次に不知火病院の院長、徳永雄一郎先生より「国の考えるうつ病予防とストレス病棟」の教育講演がありました。徳永先生は、ストレス病棟の役割を厚

生労働省へ働きかけていこうしやいます。24時間体制での看護師のケアに意味がある、いつでも見守ってもらっている。そんな対象喪失をおこさないことが大切で、回復期の自殺予防にもつながるとの事でした。ストレス病棟の看護師の役割はとても重要なのだと考えさせられた貴重な講演でした。



不知火病院 理事長・院長  
徳永 雄一郎 先生



昼食の後、3つのグループに分けてすみれ病棟の見学が行われました。説明は病棟のスタッフがを行い、遠方からお越しいただいたお客様へあさかホスピタルのすみれ病棟を少しでもわかっていただけのように説明致しました。広くきれいな病棟全体の雰囲気を感じる声が多く聞かれ、大変嬉しいことでした。そのなかでも待室や浴室(温泉)は、すばらしい！と見入っておられました。改めて、優れたハード面の中で仕事ができるありがたさを実感しました。また、ご質問もたくさんいただき、多いに交流も図れました。私もある病棟のナースと心理士の方に、今自分が悩んでいる事を聞いてみました。同じ立場での思いや改善策など話し合い、大変貴重な体験になりました。

事例検討では、すみれ病棟でかかえる難しい症例を主任やプライマリナースが中心となり、提示しました。その後、6つのグループに分かれての分科会、そのなかには、参加している各病院の様々な職種の方が入り、活発な意見交換されていました。その後の全体討議の中で、精神科看護は本人の内面はもちろん、とりまく家族への介入も必要だということ、その必要性と難しさを学ぶことができ、貴重なご意見もいただきました。



分科会後の意見交換



すみれ病棟の事例検討



懇親会

最後に郡山市内にあるホテルはまつで行われた懇親会、これも大変思い出深いものでした。宴会では、当院の安藤病棟師長のひょうご踊りで会場がおおいに盛り上がり、私は今回はじめて、ひょうご踊りを拝見しましたが、すっかりファンになってしまいました。また、院長先生と看護部によるよさこい(北の舞、どっこいし)の披露では、徳永院長先生をはじめ他の病院の方々も一緒に踊ってくださり大変盛り上がりました。時間のない中、練習も思うようにはできませんでしたが、いいストレス発散にもなりました。各病院自己紹介では、最後に当院の佐久間院長先生から全職員紹介があり、



すみれ病棟  
橋本 広枝 病棟師長

改めてチームワーク(和)の大切さを感じました。

こうして、長い日が過ぎました。とても、刺激を受け、勉強になる一日でした。この気持ちを低下させることなく、ストレス病棟の意義・重要性を理解し、ソフト面の充実(看護の質の向上)に努めていかなければならない！と思います。

最後に、この貴重な経験を与えてくださった日本ストレス病棟研究会、そしてご参加いただいた各病院の皆様方、本当におりがとうございました。これからもあさかホスピタルの理念でもありますが、愛情・奉仕・進歩の気持ちを忘れずに、病院の一員として精一杯努めていきたいと思っております。



## 第1回 手をつなごう!飛び立とう!



記念すべき、第1回あさかフェスティバルが2002年10月27日に秋晴れの空の下、安積保養園グループ4法人11施設が共催し、開催されました。「手をつなごう!飛び立とう!」をコンセプトに多くの地域の皆様にご参加いただき、入場者数も1200人を超え、大変賑わいました。出店やゲームコーナーは各施設ごとに担当し、特に「1000食無料豚汁」が大変好評でした。また、医療機関の特色を生かした健康相談コーナーなど様々な特色を持ったブースが展開されました。

## 第2回 未来にむけて飛び立とう!



あさかホスピタルが創立40周年という節目の年を迎え、これからの新しい未来に向けてすべての人と共に飛び立とうという希望をテーマに開催いたしました。昨年にも増してボランティアの皆様にご協力を頂き、来場者数も1500人を超え、大勢の方々に楽しんで頂くことができたと感じております。40周年を記念し、祝い餅つきも行われ、よさこい踊りでは地域からのボランティア参加チームと当院のチームが競演したりとおおいに盛り上がりました。

## 第3回 地域に根ざし 地域と共に



三回目となるあさかフェスティバルは、新たに開設された施設を含む4法人13施設での開催となりました。また、「500万人トーチラン福島実行委員会」の共催のもと、スペシャルオリンピック冬季世界大会に向けたトーチランも同時開催となりました。オープニングセレモニーでは、2600個ものバルーンが空高く舞い上がり、総合司会は菊池章夫さんに引き受けていただき、大いに盛り立てていただきました。出店コーナーやゲームコーナーそして、恒例の無料豚汁コーナーなど大変好評をいただきました。

## 第4回 信頼 心から心へ



今年のフェスティバルは、医療において大切な「信頼」をテーマとし、思いやりや心から心への温かいふれあいを大切にし、地域の皆様楽しんでいただけるような企画をたくさん用意いたしました。なかでも体験コーナーを新設し、実際に体感するといったコーナーや参加型のイベントも企画し、ご参加していただいた方と共にフェスティバルを盛り上げていただきました。フナーレでは、恒例になりました「世界にひとつだけの花」を会場の全員で歌い、大変盛り上がりました。







# 第4回あさかフェスティバル開催。

平成17年10月16日(日) 10:00~15:00  
あさかホスピタルグラウンド

主催:医療法人安積保養園 社会福祉法人愛育園 社会福祉法人安積福祉会 NPO法人アイ・キャン



## Program

- 10:00 オープニングセレモニー  
—— ステージショー(午前の部) ——
- 10:30 あすなろパーカッショングループ【HANA】
- 11:00 太鼓
- 11:20 よさこい踊り
- 12:00 バザー&オークション  
—— ステージショー(午後の部) ——
- 12:30 バンド演奏 菊池章夫さんコンサート
- 13:30 ウルトラクイズinあさか
- 14:00 ゴリエダンス
- 14:30 よさこい踊り
- 14:50 フィナーレ



## 地域やボランティアから2000人以上のご参加!

あさかホスピタルグループでは、日頃よりお世話になっている皆様に感謝の気持ちを込めて毎年「あさかフェスティバル」を開催しております。今年で第4回目となりました。毎年、天候にも恵まれ、青空の下、オープニングセレモニーではウインドシップさんのご協力のもとで毎回歓声の上がるバルーンリリースが行われ、ご来賓の方には、毎年ご参加いただいている衆議院議員の根本匠先生をはじめ、今年の10月に全国人権擁護委員連合会長にご就任されました滝田三良先生、あさかホスピタル家族会あづみ会副会長の大石信一様にご祝辞をいただきました。そして関連法人の役員の方やあたたかいご支援とご理解をいただいている地域の方なども含め、大変多くの方にご参加いただきました。

お越しいただいた皆様にご楽しんでいただけるよう、ステージショーや模擬店、ゲームコーナーなど様々な企画をご用意いたしました。今回のフェスティバルは、参加型を取り入れ、お越しいただいた方、ボランティアの方など、会場にいる全員が参加できるステージショー、体験コーナーを企画いたしました。おかげさまで、ご来場者数も増え、2,000人にご参加いただきました。エンディングでは恒例となりましたよさこい踊りを会場全体で踊り、大変盛り上がりました。今回も地域の皆様や数多くのボランティアの方にご参加いただき、感謝申し上げます。今後も感謝の気持ちを込め、より一層楽しんでいただけるよう、企画し、開催して参りたいと思います。これからもよろしくお願い申し上げます。





# C O L U M N



飛翔のコラムの原稿を依頼された。以前の原稿を見ると趣味についての記載が多いようである。無趣味の小生にとつてにはなかなか辛いことに相成った。うつ病の患者さんには外と内で出来る趣味をこつこつ持つように指導しているが、自分が実践できていない。唯一、趣味といえばゴルフである。元来、運動が好きで学生時代には水泳、セッカー、テニスなどの経験がある。

大学の医局に入って2年巨にトランクに出てからゴルフを始めたので、ゴルフ歴は約三十年となる。最初にゴルフ場に行った時には、その景観の素晴らしさに感動したものである。以来、その魅力に嵌まってしまった。

ホームコースは安達太良カントリークラブで、3年前によくシングルになった。シングルの医者には診てもらえないという話がある位で、あまり自慢できるものではない。今では維持するのが困難である。

思い出深いゴルフ場は、左久間啓院長と一緒にプレーした沖裡の嘉手納基地内のゴルフ場、北里大学名誉教授の対崎光邦先生と同伴したタイのブークットのゴルフ場などである。

最近、そのゴルフにも情熱が薄れた感がある。自分からゴルフを取ったら何が残るのか、そんなことも考え、うつ病にならない程度に続けて行きたいと考える昨今である。

副院長 新国 茂



## FEATURE STORY ON ASAKA

No.8

### HEALTHY COOKING ガトー・アップルショコラ



- 材料
- |            |        |            |           |
|------------|--------|------------|-----------|
| ○りんご       | 1と1/2個 | ○卵黄・卵白     | 各1と1/2個   |
| ○レモン       | 1/3個   | ○アーモンドプードル | 40g       |
| ○砂糖        | 40g    | ○牛乳        | 小さじ2      |
| ○ビターチョコレート | 80g    | ○薄力粉       | 30g       |
| ○無塩バター     | 75g    | ○ココア       | 大さじ1と1/2個 |
| ○粉糖        | 80g    |            |           |

「朝のりんごは医者いらず!」りんごには、タンニン酸、カリウム、ペクチンなどが豊富に含まれています。食物繊維は腸管の蠕動を促し、便秘の解消を促します。

りんご酸やクエン酸には、脳の石がつかずや、目をよめる効果があり、二日酔いにも良いので、これからの季節まさにミラクルフルーツにもなりそうです。今回は、お気に入りの良いチョコレートと共に、ケーキに焼きこみました。アップルソースを作らば、バター・ショガーをふりかけたら、気分はもうメリークリスマス!

- 作り方
- ① りんごのコンポートを作る。りんごはよく洗いをむく。1個は8つ切りにし、半個は 5つ切りにする。レモン汁と砂糖、少量の水を鍋に入れ、りんごの皮も共に煮る。
  - ② ビターチョコレートを湯煎でとかし、あら熱をとる。
  - ③ 別のボールに軟らかくしたバターを入れ、粉糖40gを加え白くなるまで混ぜる。
  - ④ 3に卵黄、アーモンドプードル、牛乳を加えよく混ぜる。全体が冷ざったら、溶かしたチョコレートを加え再び混ぜる。
  - ⑤ 卵白に残りの粉糖を加え、つのが立つまであわ立てる。
  - ⑥ 5に★印の材料と卵白を交互に入れ、さっくり混ぜる。
  - ⑦ 型にオープンペーパーをしき、生地を流し、8つ切りにしたコンポートをのせ、160℃のオーブンで40分焼く。  
(盛りつける時に5つ切りりんごを巻き、アップルローズを作る。)

1/10カット…217kcal

# 郡山の顔 源泉通りケヤキの森 足湯

磐梯熱海の豊かな自然とともに

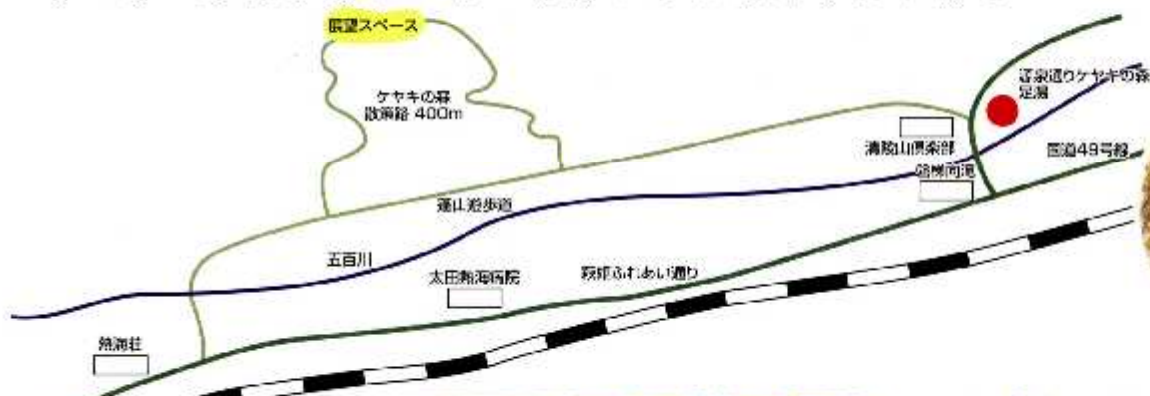


## 【源泉通り足湯】

源泉通り足湯は、平成16年10月にオープンし、源泉場の入り口にあります。磐梯熱海温泉の豊富な湯量を100%使用したかけ流し式で提供し、温泉に宿油される方にももちろんごみなどでも無料で利用できる足湯です。湯船に足をひたせば、爪先から指先が方に温まります。浴槽の床には足裏刺激が楽しめる小石を貼り付けてあるため、足ツボをほとんど刺激できます。また、指先から体を温める手湯も併設してあります。その手湯や足湯に浸かりながら、磐梯熱海の自然と源泉神社の赤い鳥居との対比を楽しむこともできる絶好のロケーションです。

また、目の前には、ケヤキの森散策路があります。蓬山遊歩道の近くに樹齢300年、直径2m超、30本以上のケヤキの群生地が発見され、平成15年に蓬山遊歩道から約400mの散策路が整備されました。癒しの空間となるよう、自然環境に十分配慮された遊歩道です。このケヤキの森を散策後、疲労回復にも足湯はおすすすめです。

蓬山遊歩道のケヤキの森と源泉通りの足湯のセットで磐梯熱海の豊かな自然の中で、それぞれの四季を満喫し、「癒し」を味わってみてはいかがでしょうか。



五百川

ケヤキの森散策路

秋婚ふれあい通り

# Fundamental Philosophy

**愛情**  
Affection

「愛」は心をつなぐ力です。患者・家族と信頼し、  
医療者と患者との心を繋ぐことこそ  
人の心と命を救う唯一の道です。

**奉仕**  
Devotion

患者・家族の生活、全ての患者の心を支え、  
結果として自分の命が守られていることを感謝し、  
結果から感謝されることを目指してまいります。

**和**  
Harmony

医療従事者の「ムラ」を、新しい価値の創造へと、  
職員一人一人の個性を活かし、協働を促し、  
患者一人一人に「和」を届けてまいります。

**進歩**  
Innovation

常に最先端の医療・介護を追求し、  
自己の人間性の成長を促す。  
自ら夢を叶えたいと、積極的に新しい挑戦を求めています。

あさかホスピタルは基本理念のもと、  
心と脳の専門機関としてすべての人の心と人格を尊び、  
質の高い心のこもった医療・保健・福祉を提供します。



あさかホスピタル本館6Fが改装され、6F議室が「あさかホール」へ、食堂が「Pietto」とリニューアルされました。雰囲気はあたたかく、機能面では、利用しやすい環境が整いました。今後、地域の皆様にもぜひご利用いただければと思います。

●編集後記

今回の季刊誌「飛翔」は、第39回日本作業療法学会と第33回日本精神科病院協会精神医学会の受賞、当院6FのあさかホールとPietto、そして関連法人しらさわ有寿園に今年11月にオープンしたデイサービスセンターを特集記事とさせていただきます。加えて、第10回日本ストレス病棟研究会についてもご紹介させていただきました。今回発行いたしました季刊誌「飛翔」を通じて、あさかホスピタルの取り組みについてご理解頂ければ幸いです。今後も皆様から親しまれる季刊誌を目指して参ります

季刊誌編集スタッフ

●ご意見・お問い合わせ

あさかホスピタル 企画広報室 E-mail: kikaku@asaka.or.jp  
あさかホスピタルでは、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、仕事と子育ての両方を両立させる必要に応じて、就業環境の整備等を進めております。



address/access  
 ■バス 裾野550/郡山-須賀川線(約20分)  
 内7,11バス停留所までホームからアース地下車(徒歩5分)  
 ■JR 東上本線・水理線/安積水盛駅下車(徒歩25分)



**あさかホスピタル**  
 〒933-0198 郡山市安積町笹川字経垣45  
 TEL:024-945-1701(代) FAX:024-945-1735  
 ■ホームページ <http://www.asaka.or.jp/>  
 ■Mobile Web対応 <http://www.asaka.or.jp/~top.htm>  
 ■E-mail [info@asaka.or.jp](mailto:info@asaka.or.jp)  
 ■フリーダイヤル ☎ 0120-46-1701

- 医療法人 安積保養園グループ
- 介護老人保健施設 啓寿園  
郡山市安積町笹川字経垣31  
TEL024-946-6145(代) FAX024-937-3156
  - さくまメンタルクリニック  
郡山市中町7番16号 安積野ビル3階  
TEL024-932-5307 FAX024-932-5813
  - あさかストレスセンター EAP あさかオフィス  
さくまメンタルクリニック内  
TEL/FAX024-932-9099
  - あさかホームケアーズ  
ウェルケア介護支援事業所 フェルモ介護支援センター  
ウェルケア看護導入アソシエーション フェルヘルパースアソシエーション  
ウェルケアケア(臨床研究)  
郡山市安積町笹川字日光池西6-1  
TEL024-946-0581・0582・0583・0584 FAX024-946-0591
  - 福祉ホーム 希望'98  
郡山市安積町笹川字西有垣54-2  
TEL024-943-7825
  - 関連施設
  - 介護老人福祉施設 安積千寿園  
郡山市安積町笹川字岡谷田3番地6  
TEL024-946-2518 FAX024-946-8170
  - 介護老人福祉施設 しらさわ有寿園  
安達郡白沢村和田字戸ノ内158番地3  
TEL0243-64-2121 FAX0243-64-2756
  - 知的障害児施設 安積愛育園  
郡山市安積町笹川字経垣28  
TEL024-945-0369 FAX024-945-0379
  - 知的障害者更生施設 あさかあすなろ荘  
郡山市安積町大森70-1  
TEL024-947-7575 FAX024-947-7576
  - 地域生活サポートセンター  
知的障害者デイサービスセンター パッソ  
郡山市安積町笹川字西有垣54-3  
TEL024-937-0201 FAX024-947-5115
  - 知的障害者施設 更生施設(分棟) ピーポ  
安達郡白沢村和田字戸ノ内32-1  
TEL0243-64-2151 FAX0243-64-2152
  - NPO法人
  - 精神障害者地域生活支援センター アイ・キャン  
共同住居施設 ささがわヴィレッジ  
郡山市安積町笹川字西有垣55-7  
TEL024-945-1100 FAX024-945-1129